

9月12日 大会第3日 順位決定戦

【男子】(9位~12位、順位決定戦)

【スペイン戦】12-19 敗戦

前日に続く突然の雷雨にグラウンドは泥沼状態。試合はDが沖CBの2インターセプトを含む健闘をみせ、一進一退の攻防。1TD差、残り時間ゼロ秒のラストプレイを日本QBがコフィンに投げ、WR畑が好捕したかに見えたが、線審のジャッジはアウトオブバウンド。惜敗。



【スイス戦】41-41 引き分け



取りつ取られつの攻防。両チーム共に最後の試合と言うこともあって文字通り死力を尽した。試合は残り時間が1分を切り、日本は敵陣ゴール前2ヤードまで進軍。WR芳賀のアクロスにQB竹川が投げ込みTDが決まったかに見えたが、審判のジャッジはオフENSEのブロッキング(ラッシュ妨害)・・・そのまま時計は進み同点のまま試合終了。

試合終了後、殆どの選手がユニフォームの交換を行い今回のW杯が終了した



【女子】(9位～14位、順位決定戦)

【ブラジル戦】 19 - 25 敗戦



開始早々、日本は黒沢のランニング TD を獲得し順調なスタート切った。ブラジルも足の早さを生かしたランニング、2TD をとりすぐに逆転した。後半、DB 津金の3本連続インターセプトにて攻撃権を獲得し、日本チームは攻撃のチャンスをつかむも、

接戦をものにしたのはブラジルだった。身体を張ったブラジルディフェンスが 1TD 差を守りきった。

【スペイン戦】 25-18 勝利

雨に悩まされた一戦。

日本は、ランプレーを中心にした攻撃を展開。センター熊谷の TD を皮切りに合計 4 本の TD を獲得。

前半は、両チーム 2TD 獲得し折り返した。後半に入り、FS 大森の鋭いラッシュで、スペイン QB を圧倒し攻撃を崩し勝利をものにした。

【イスラエル戦】 7-19 敗戦

雨が激しさを増す中、グラウンドはさらに悪コンディションとなっていた。

両チーム、ボールコントロールに苦慮するなか、前半イスラエルのランニングプレーで攻め込まれる。

日本も黒沢へのパスからランニングで敵陣へ攻め杉本の TD へとつないだ。後半、イスラエルのディフェンスを崩せず追加得点ならず試合終了。

大会を終えた日本代表チーム、それぞれの最終成績は以下のとおりでした。

男女とも、目標としていたメダルには届きませんでしたが、全員一丸となって大会を戦い抜きました。今大会へ参加したことによって、新たな目標、また世界で戦うための課題を見つけたようです。

両チームは、9月15日、全員無事に日本に帰国いたしました。

【男子日本代表:FFFC 富士通フロンティアーズ】

■予選リーグ

グループ A            6 位 (2 勝 5 敗 1 分)

■順位決定戦

9 位～12 位戦    12 位 (0 勝 2 敗 1 分)

【女子日本代表:FFFC 富士通マロンティアーズ】

■予選リーグ

グループ A            5 位 (2 勝 4 敗)

■順位決定戦

9 位～14 位戦    11 位 (3 勝 2 敗)



大会前日に行われたレセプション、登壇する日本代表チーム



大会を終えた両チームの選手・スタッフ